

～ごめんねって言えばいいの？～

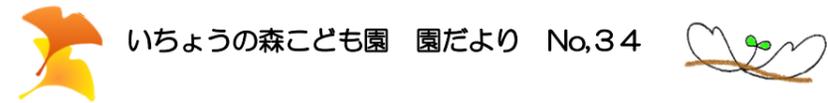
集団生活でどうしても避けては通れないことも同士のトラブル。そんな時に子どもたちはすぐに「ごめんね」「いいよ」の言葉だけのやり取りで終わらせようとしてしまいます。「本当にごめんねを言ったら終わり?」「いいよって言ったけど、本当にいいの?」を今回のキャラバンでは大人も一緒に考えました。「ごめんね」って言わなくちゃいけないようなことはしないほうがいいよね。「いいよ」って言ったけど、本当は嫌で、もっと言いたいことがあるかも知れないよね、というされた方の気持ちを伝えたりしました。子どももですが、大人も「ごめんねは」と促したり、「いいよっていつてあげようよ」と形だけで終わらせず、考えられる子どもたちに育ててほしいな、と思います。

河合 比呂子

人権キャラバン



いちょうの森だより



いちょうの森こども園 園だより No.34



いちょうの森こども園 HP には、QR コードまたは下記の HP アドレスよりアクセスできます。  
<https://ichionomori.okayamakodomokyoukai.jp/>

令和2年度6月1日 発行  
いちょうの森こども園 園だより  
桜が丘東3-3-496  
TEL 086 (956) 2022  
FAX 086 (956) 2023



子どもからの～したいを大切に

先日、つき組はオクラと枝豆の種まきをしました。「今日は、種まきをするよ」と種を見せた際、「早くしたい」と楽しみにしている子もいれば、「えー」と不満そうな子もいて、興味を持ったのは子どもたち全員ではありませんでした。もちろん自分でやりたいことがあるのは当然のこと。しかし、みんなで種をまいて、みんなで育てて、おいしく食べて達成感を味わいたいという保育者の願いもあり、「どうすれば自分からしたいと思えるのだろう」と考えました。

まずは、「こんなのができるんだよ」とオクラと枝豆の写真を見せてみました。「こんなに大きくなるかな」とA児。「たくさん水をあげれば大丈夫だよ。」とB児。どうやったら写真のように育てられるか想像して考えていました。次に保育者が「どんな料理ができるか知ってる?」と子どもたちに問いかけてみました。「んー」と考えたあと「分からない」と答える子がほとんどでしたが、そんな中初めはあまり興味を持たなかったC児が、「この前枝豆のごはん食べたよ」と答えました。その声を聞いて「あれおいしいよね」「ぼくも食べたいな」などどんどん想像が膨らんでいる様子の子もたち。保育者が「あんな料理やこんな料理もできるんだよ」と料理の写真を見せたり、作り方を伝えたりすると「食べたい」「早く種まきしよ」と初めは興味を持たなかった子も興味を持ち始めているのが見て分かりました。無事、みんなで種まきをすることができ、成長を楽しみに育てています。

みんなで一つのことをするという事は3歳児にとって難しいことですが、それを強制せず、興味を持ち子ども自身がしたいと思えるまで待つことを大切にしています。どうすれば興味を持つことができるかなと試行錯誤しながらつき組のみんなと楽しい一年を過ごしたいと思います。

奥山 愛花



6月

- 4日(木) 歯科健診
- 10日(水) 内科検診
- 16日(火) ひまわりPJ(そら組)
- 16日(火) 検尿(そら・ほし組)  
[検尿予備日: 18日]
- 17日(水) 避難訓練
- 19日(金) 誕生会
- 22日(月) ~ 26日(金) 個別懇談



7月

- 3日 誕生会
- 14日 避難訓練

集めています

夏の水あそびに向けて、楽しく遊べるものを集めています。

- ペットボトル(小)
  - 透明のゼリーカップ
  - 食器洗剤などの容器
  - 洗濯粉洗剤のスプーン
- など  
持ってこられた方は、玄関の回収ボックスに入れてください。  
ご協力お願いします。

園庭でのあそび



今年度、月ごとに園庭での遊びのテーマを設定し、子どもの意見を取り入れながら、あそびを展開していきます。月ごとのテーマとしては、4月はサーキット、5月は自然であそぼう、6月は段ボールを使ったあそび、7・8月は涼しさを感じる、9・10月は運動あそび(リレー、けんけんばなど)、11月・12月はごっこあそび、1・2・3月は伝承あそびを計画しています。

園庭でのあそびを充実させる大切なポイントに「子ども自ら関わる」ということがあります。あそびの楽しさは「遊びたい」という意欲から、子ども自らが「遊びだす」ことで始まります。子どもたちの意見を取り入れながら、「遊びたい」という意欲を引き出し、子ども自身が選んで「遊びだす」環境を整え、そこから発展したり、深まったりすることを期待しつつ、職員も一緒にあそびの幅を広げていきたいと思っています。

金光 華子



# 夏野菜を植えたよ

## にじぐみ

### 『米作りに挑戦！』

一人に一つの肥料袋で米作りをはじめました。まず初めに田んぼの土を肥料袋に8分目ぐらいまで入れたのですが、土は重たくて、なかなか一杯になりませんでした。「は一、つかれるな。」と早くも米作りの大変さを感じました。

種もみを初めてみた時は、「おこめのたねってちやいろいんだね」とびっくり。「この中にみんなが食べるお米がはいっているんだよ」と聞くと「えー！」とまたまたびっくり。米作りは初めてだらけで大変と不思議がいっぱいです。米作りを通して食物を育てる大変さも伝えられたらいいな、と思っています。



## そらぐみ



水に浸した種もみが芽を出したところを観察中



### 『おいしくなあれ』

ピーマンとキュウリの種を蒔きました。「この種がピーマンとキュウリになるからね」とこどもたちに伝えると、頭の上に『？』が浮かんでいました。確かにイメージが浮かばないと思います。イメージが浮かばないからこそ、一緒に野菜の生長を楽しみに見守りたいです。

## ゆきぐみ



### 『これなあに？』

レタスの種を蒔きました。「レタスの種まくよ」こどもたちの手の平に種を乗せると種をじっと見つめたり、驚いたようにパッとすぐにプランターに投げ入れたりしていました。まだこどもたちの中で種から野菜ができることがつながらないかもしれませんが、種蒔きやお世話などいろいろな経験を重ねていきたいと思います。

## ほしくみ



### 『楽しみをもって水やりと観察』

トウモロコシと茄子の種を蒔きました。毎日、水やりをしながら「芽が出たかな〜」と心待ちにしていました。連休明け「先生！ちょっと来て！」とすごい勢いで呼ばれるので、何かあったのかとドキドキしながら行くと「見て！芽が出てるよ」「こっちは髭みたいになっとる」と、芽が出たことと成長に気づき大喜びです。これからもその時々成長をこどもたちと一緒に観察したり喜んだりしながら、育てていきたいと思っています。

## はなぐみ



### 『水やり』

アスター（花）の種まきをしました。こどもたちが少しでも興味をもてるように「お花にお水あげようね」と話をしながら水やりをしています。芽が出て、葉っぱが増えて、花が咲くまでの過程を言葉にして伝えながら楽しんでいけたらと思います。（※はな組の夏野菜は黒豆の枝豆を6月下旬頃に植える予定です。）

### 『まだ食べれなさそう』

オクラと枝豆の種を蒔きました。ポットに土を入れ2、3粒ずつ蒔き水をやりました。どんな野菜が育つかしっかり写真を見て確認し、毎日「まだ（芽が）出てないね」と楽しみに待っていました。ある日、ついに芽が出ているのを発見し、「芽が出てるよ！」と大喜び。ポットをじっと見つめ、「でもまだ小さいからまだ食べれないか」とつぶやく子がいて、野菜の写真を思い出して待ち遠しい様子でした。どんどん大きくなる葉をこどもたちと一緒に見て成長を楽しみに待とうと思います。

## つきぐみ



## 畑づくり

昨年度、畑の幅を広げたくさんの野菜を植えられるようにしました。牛ふんやビール粕、田んぼの土などを入れ、畑づくりの開始です。でもちょっとその前に、土に交じって石ころが見えたので、そら組に石拾いをお願いしました。「こんな大きいのがあった！」と自慢げに友だちに見せたり、服の裾を袋がわりにして、それいっぱい集めたりと楽しみながらのお手伝いでした。大人にとっては単純作業に思ってしまうことも、楽しみ方を知っているこどもたちに感心しました。こどもたちと力を合わせながら、おいしい野菜ができる畑を作りたいと思います。



種から芽を出して葉が増えていく様子や、水やりをすることによって伸びるツル。葉っぱや野菜の感触。収穫前の畑のにおい。自分たちで育てた野菜の味や舌触りや噛んだ時の音。実体験を通してでしか味わえない五感で感じる野菜作りを、共に感じ、一緒に新発見をしたいです。 雁 倫子

